

◆エゾシカ事故の発生状況

【地域別事故件数 (H23)】

北海道では年間約2300件のエゾシカ事故のうち、35%が釧路・根室管内で発生しています。

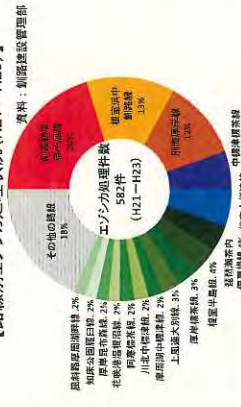
平成23年の釧路管内におけるエゾシカ事故は、前年に比べ、232件多くなっており、他の振興局・総合振興局よりも多く増加しています。



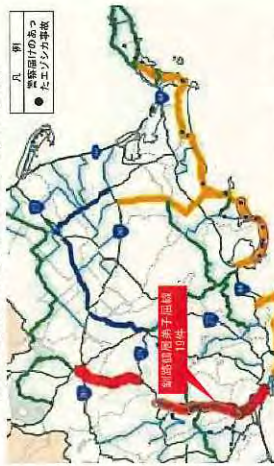
釧路鶴居弟子屈線で事故が最も多い！

エゾシカ処理は釧路鶴居弟子屈線で20%を占めています。
警察届けのあったエゾシカ事故は、釧路鶴居弟子屈線が多い状況です。

【路線別エゾシカ処理状況 (H21～H23)】



【警察に届け出のあったエゾシカ事故発生状況】



※1 釧路管内：H23 (1月～12月) データ
※2 根室管内：H24 (1月～9月) データ
※3 中標津管内：H24 (1月～11月) データ

◆釧路鶴居弟子屈線のエゾシカ事故 (死体処理) の現状

秋期 (9月～11月) のエゾシカ事故が多い！



エゾシカ事故 (死体処理) 件数は年間約40件程度である。

釧路鶴居弟子屈線におけるエゾシカ事故 (死体処理) の割合は、秋期に約半数を占める状況である。

◆釧路鶴居弟子屈線におけるエゾシカ事故対策工

動物注意の警戒標識は23基設置されている



エゾシカ事故対策として、動物注意の警戒標識は23基設置し、注意喚起を行っている。

路線名	警戒標識設置数	事業課	弟子屈	厚岸	根室	室中	標津	合計
釧路鶴居弟子屈線	⑨ ④	19基	4基	—	—	—	—	23基

資料：釧路建設管理部 (H24)

◆エゾシカ調査結果 (痕跡調査、ライトセンサス)

⑧ 釧路鶴居弟子屈線下標津地区 (SP4, 0.00～2.000)

調査項目	ライトセンサス・痕跡調査
調査日	秋調査：平成24年11月14～18日 冬調査：平成25年2月12～13日
エゾシカ事故	痕跡調査
警戒標識	秋：50箇所以上 冬：30箇所以上
ライトセンサス	秋：約90箇所 冬：30箇所以上
エゾシカ数	14頭
16件	



・痕跡調査では、エゾシカのシカ道やフンなどが区間全体で確認された。
・ライトセンサス調査では、SP15km～SP17km、SP23km～SP27kmの区間に個体が確認された。

⑨ 釧路鶴居弟子屈線 鶴居地区 (SP25, 0.00～4, 500)

調査項目	ライトセンサス・痕跡調査
調査日	秋調査：平成24年11月14～16日 冬調査：平成25年2月12～13日
エゾシカ事故	痕跡調査
警戒標識	秋：約10箇所以上 冬：10箇所以上
ライトセンサス	秋：約10箇所以上 冬：10箇所以上
エゾシカ数	3件



・痕跡調査では、鶴居村市街地区間を除く区間全体で確認された。
・ライトセンサス調査では、SP29km～SP31km、SP33km～SP34km、SP40km～SP41.5kmの区間に個体が確認された。